

P to P つえ楽座

TUERAKUZA

お手持ちのつえに「つえ楽座」を装着して、腰掛けることができます。

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い上げいただき、有難うございました。ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

■用途

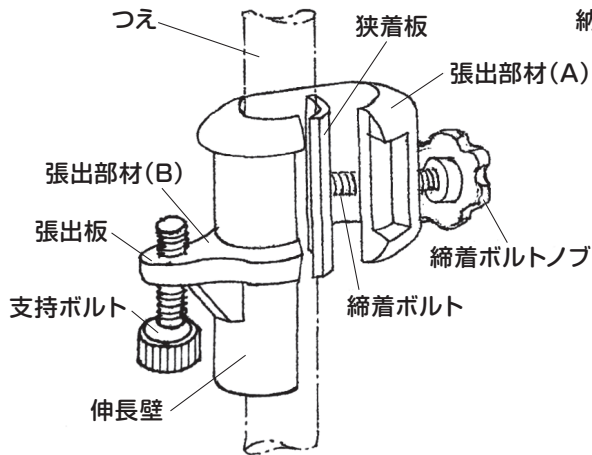
1. 少休止しながら歩行訓練をされる方に最適。
2. 登山される方の小休止にも最適。
3. イベントなどの立見席に最適。
4. 足腰の負担が軽減されるので、立ち仕事などの作業やレジャーに最適。
5. 釣りや農作業など、長時間立ち続けると足や腰に負担がかかります。
足腰の負担軽減に「つえ楽座」をご使用ください。

▲つえ楽座の使用上の注意

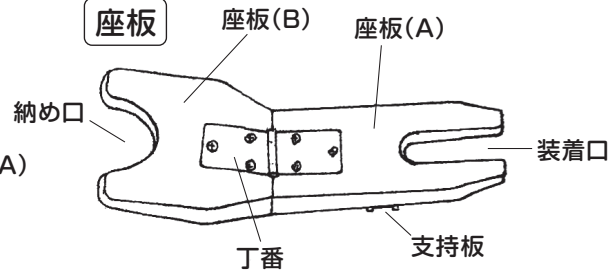
1. 歩行困難な方は使用しないでください。（自立できない方の使用は厳禁です。）
2. 障害物の無い平坦な場所でご使用ください。
（不安定な場所でのご使用は危険です。）
3. 座板には50kg以上の荷重は絶対に掛けないでください。つえの強度は様々であり、座板に荷重を掛ける際には、つえのたわみ具合を確認のうえ破損しないよう厳重にご注意ください。
（たわみ具合は、つえの長さ1mの中央部で約7mm程度を基準にご使用願います。つえは材質、構造等により強度は様々ですので、その都度ご確認のうえご使用願います。）
4. 装着体を杖から取外す際に締着ボルトノブを逆に回しますが、軽く止まったところで、これ以上絶対に逆回ししないでください。
（狭着板から締着ボルト先端が離脱の恐れがあります。）
5. 目的以外のご使用は厳禁です。

■各部の名称

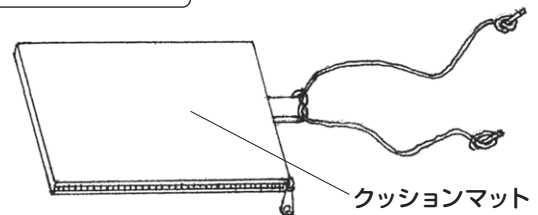
装着体



座板



クッション袋



■使用前の準備

1. 自己の立ち座りに最適のつえ高さを定めて、つえに装着体をしっかりと取り付ける。
(締着ボルトノブを回して固定)
2. 座板(A)を装着体に奥まで差し込み、支持板に支持ボルトを当てて座板を好みの角度に調整する。
3. クッション袋を座板にセットし、袋紐でつえに結わえる。



■座板に立ち座りをする仕方

1. つえを前方に適宜に傾けて(およそ10~20°程度)両足を肩幅程度開き、20cm程度前後させ、しっかり立った状態でつえの握り部を握ったままお尻を静かに座板へ下ろす。
2. その際、体重による「つえのたわみ具合」をご確認のうえ、ご使用願います。
体重の1/3程度を当該座板が受けることで、足への負担は大きく軽減されます。

■保守・点検

1. 本製品の装着体はアルミ鋳物・ステンレス・樹脂など、サビにくい材料を使用しております。一方、座板は軽くて強度の高いヒノキ・ヒバ材に、アルミ鋳物支持板及びステンレス丁番をSUSビスで固定していますので、お使いのつえと同様に清掃などの保守・点検をお願いします。

■ご修理の時は

本製品の修理等は有償にて下記弊社において行います。ただし保証期間(購入から1年)内は製造等に起因する場合のみ無償です。

お問い合わせ

(有)パイン企画

石川県金沢市若松町1丁目5 TEL:076-262-3248

FAX:076-262-3088 メール:infoptop@star.ocn.ne.jp

ホームページ:https://tuerakuza.com

詳しくは
こちら

